

**所在地** 大阪市旭区森小路2-10-35  
**電話番号** 06-6955-1212  
**校長名** 佐保 一紀  
**標準服の有無** 有



## 学校の概要

本校は明治6年、東成郡第三区千林村他八か村組合公立千林小学校として創立された。その後、大阪市千林尋常小学校等の幾度かの改称を経て、昭和22年に現在の大阪市立古市小学校となり、今日に至っている。本校区は幹線道路である国道1号線に面し、OsakaMetro谷町線と京阪本線に挟まれ、域内3駅を擁し人々の往来が盛んな地域である。千林商店街等の賑やかな商店街と戦前から残る落ち着いた街並みの中で、素直で人懐っこい児童が育まれている。

## 学校ホームページ

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e681511>



携帯サイト

大阪市立古市小学校

## 主な学校行事

- 4月…家庭訪問
- 5月…学習参観、春の遠足
- 6月…海洋トライアル(6年)、日曜参観防災DAY
- 7月…期末懇談会、林間学習(5年)
- 9月…修学旅行(6年)
- 10月…運動会
- 11月…全校オリエンテーリング、学習参観
- 12月…期末懇談会
- 2月…学習参観
- 3月…卒業をお祝いする会



## 児童数、学級数 (令和7年5月1日現在)

学年	男子	女子	計	学級数
1	36	30	66	2
2	49	42	91	3
3	32	37	69	2
4	39	48	87	3
5	41	39	80	3
6	41	31	72	2
特別支援学級				6

## 学校公開・説明会 日程

- 学校公開 / 9月9日(火) 14:40~15:25
- 学校説明会 / 9月9日(火) 14:00~14:30

\*参加にあたっては必ず12・13ページをご確認ください。

## 通学区域以外からの就学について

- 集団登校 / 有
- 通学のルール / 保護者が集団登校の場所まで送り迎える。(出発時刻に間に合わなかった場合は、児童の安全確保のため、必ず学校まで送ってきてください。)

## 全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査

### 令和6年度全国学力・学習状況調査 (平均正答率)

国語	算数
70%	67%

- 結果の概要 / 国語科の平均正答率は70%で、全国平均の67.7%に比べて2.3ポイント上回った。算数科の平均正答率は67%で、全国平均の63.4%に比べて3.6ポイント上回った。
- 取組の成果 / 国語科の「我が国の言語文化に関する事項」の問題に関しては全国平均+9.9ポイントの正答率であり、知識技能に関しては定着していることが読み取れる。算数科では、「数と計算」だけでなく「データの活用」も+5.8ポイントとできていることが読み取れる。
- 今後の取り組むべき課題 / ペアやグループ、学級全体での「話し合いタイム」の設定、学習の振り返りの時間の設定、話型の活用など、話し合い活動の充実を図り、児童の話す・聞く力や表現する力をさらに高める。

### 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (平均値)

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横這い (回)	50m走 (秒)	立ち幅どまり (cm)	リフトボール投げ (m)	体力合計点	
男子	17.70	22.83	33.75	41.58	51.33	9.33	161.63	23.13	56.48
女子	15.45	18.33	38.40	40.69	35.00	9.68	150.70	14.17	55.00

- 結果の概要 / 体力の合計点は、男子が56.48で、大阪市より5.35点、全国より3.95点上回った。女子は55.00で、大阪市より2.53点、全国より1.08点上回った。
- 取組の成果 / 昨年度から、毎週水曜日にたて割り班で運動遊びを行う「ゆうゆうタイム」を行っている。その結果、学校全体として運動が好きな児童や外遊びに興じている児童の割合が増加している。その結果、大阪市や全国よりも上回っていると考えられる。
- 今後の取り組むべき課題 / 昨年度15分間だった「ゆうゆうタイム」を今年度から30分に拡大し、運動遊びの充実を図っている。また、体育科の研究を通して、遊びの要素を授業づくりに織り交ぜている。そういった取組が、運動能力や体力の向上に繋がっているか校内で検討・分析が必要である。

\*各調査の概要については、14・15ページをご覧ください。

## 令和7年度 大阪市立古市小学校 教育全体計画

### 学校教育目標

自ら考え主体的に活動するたくましい子どもを育てる

#### めざす子ども像

自ら考える子

つよい子

なかよくする子

ねばり強く考え続け、主体的に解決していく子ども

基本的な生活習慣を身につけ、進んで運動に親しむ子ども

互いのよさやちがいを認め合い、励まし合いながら共に生きていく子ども

### 校長メッセージ

昨年度から「体育科の研究」を中心に据え、すべての児童が運動を好きになる授業づくりに努めています。どの教科においても、伝え合う活動を大切にしながら、どのように自分の生き方に学んだことを活用できるとよいかを系統立てて考えてきました。学校行事に関しても、本校の特色である地域に根差した学校としてカリキュラムの構成を見直し、発達段階に関しても縦横断的に組み立てていきます。特に、校区に大きな商店街がある地域性を生かした取組をカリキュラムマネジメントの中心として考え、児童一人一人が地域の一員として生活をしていることの自覚と自信を持つことができるように活動していきたいと考えております。

### 育てたい資質・能力

～主体的・対話的で深い学びを目指して～

#### 自ら考える子

・活用の力 情報を正しく読み取り要約することに加え、読み取ったものから考えを形成することで、身に付けた「知識・技能」が様々な課題の対応に生かせることと実感できるようになること。

#### つよい子

・立志の力 学ぶことの意味を自分の人生や社会の在り方に結び付け、ねばり強く取り組むこと。

#### なかよくする子

・対話の力 自分の考えを表現するとともに、多様な人との対話を通じて考えを広げたり深めたりすること。

### 教科

**体育** 運動が得意・不得意に関わらず、それぞれにやりたい運動を見つけて、得意に活動できるようにする。また、安全面に気を付けながら活動できるようにする。

**国語** 正しい日本語、語彙力を身に付けることが、児童の表現したい内容を自分自身で理解し、相手に伝えたいことに結びつく。そのことを様々な場面で話し合い活動の充実につなげることができるようにする。

**総合・生活** 地域社会に向けて、人・もの・ことと積極的に関わり、自分の住む町の良さに気づき、「古市小学校の児童」としての誇りをもち学んでいくことの楽しさや充実感を得ながら、感謝の気持ちを伝えられるようにする。

**一部教科担任制** 5・6年生だけでなく3・4年生においても導入し、教科研究や評価の効率化を図り、教員の専門性を活かした学習と指導を行う。

### 子どもの実態(学力・生活指導等)・学校の喫緊の課題

- 令和6年度の大阪市小学校学級年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は38.5%と目標に届かなかったが、肯定的に回答する児童の割合は74.7%であった。日々の取組を通して、話し合い活動が活発になったり、振り返りを書くことで自分の考えをまとめることに慣れてきたりと、児童により変化が着実に見られる。
- 令和6年度の大阪市小学校学級年調査における正答率が市の平均の7割に満たない児童の割合は、国語17%、算数13%で、そのうち国語と算数どちらも7割未満の児童は6%となり、昨年度の13%から減少した。
- 令和6年度の校内調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を65%以上にすることができた。肯定的に答えた児童の割合は80%以上になることや、日々の外遊びの様子、昨年度の結果からも運動やスポーツを楽しむ児童が増えた。
- 令和6年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で毎日、学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、肯定的に答える児童の割合は全学年合計で71%となり、達成することができた。ただし、低学年は83%だったが、高学年は69%となり、わずかながら目標を下回る結果となった。

### 安心・安全な教育の推進

- 令和7年度の小学校学力年調査の「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 令和7年度の校内調査の「友達一人一人の違いを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、90%以上にする。

### 未来を切り拓く学力・体力の向上

- 令和7年度の小学校学力年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力年調査における国語、算数の正答率が市の平均の7割に満たない児童を学校全体の13%未満にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合が、男女ともに1にする。※全国平均を1とした時の割合
- 令和7年度の校内調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を68%以上にする。

### 学びを支える教育環境の充実

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。[ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を79%以上にする。